

20 吹上浜

ランク: A

生態系区分
海岸

区分レベル
大

含まれる生態系(生態系区分)
海岸崖地
本庄川・塩屋川河口干潟

市町名
南あわじ市

場所

-
選定理由

希少性	多様性	特殊性	脆弱性	分布限定性	人との関わり	複合性

保全制度
国立公園

概要

【吹上浜】

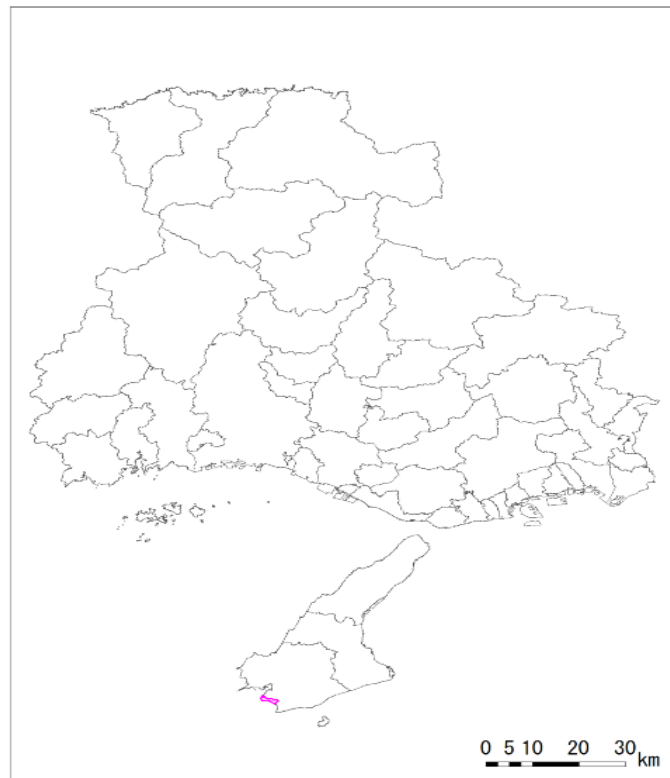
淡路島では最大規模の自然海浜。人為の影響が少なく、後背地も含めた海浜の自然状態が保たれている。砂丘部にはネコノシタ、ハマニガナ、ヒロードテンツキなどの希少な海浜植物が生育するほか、ヤマトマダラバツタ、オオヒョウタンゴミムシ、ハマスズ、シロスジコガネ、ヤマトルリモンハナバチ、ハナダカバチ、オサムシモドキなど、希少な昆虫類が豊富である。オオヒョウタンゴミムシなどは近年減少が著しい。

【海岸崖地】

砂丘西側の後背は海岸崖地となっており、崖の下部ではアゼトウナやハマナデシコ、ハマボッサが岩の割れ目に生育する。崖の中～上部はススキがまばらに生える風衝草原となっている。

【本庄川・塩屋川河口干潟】

本庄川・塩屋川が合流する汽水域に、チワラスボが生息する泥干潟があり、希少な動植物の生育・生息地となっている。本庄川と塩屋川に囲まれた小山には照葉樹林帯があり、多くのアカテガニ、ベンケイガニが生息する。



写真提供：澤田佳宏

